

学年・校内人権作文意見発表会

6月に一人一人が人権作文を書き、様々な人権課題について考えてきました。学年人権意見発表会では、同じ学年の学級代表が作文を読んで人権意見発表を行い、7月7日には、各学年の代表者による校内人権意見発表会が行われました。盲導犬、コロナ禍、発する言葉の重み、AIとの付き合い方、偏見、SNSをテーマにした作文は、生徒たちにとって、今まで知らなかったことを知るきっかけになったり、共感したり、また自分のことを振り返ったりと、それぞれがしっかり考える時間になりました。生徒の感想の一部を抜粋して掲載します。

- 人権課題はたくさんある。一人一人が考え、意識し、行動できる社会にしたいと思った。
- 周りを見て、困っている人を見かけたら寄り添い、悪口を運ばないように取り組みたい。困ったことがあれば家族や、信頼できる友だちや先生に相談し、いつも助けてくれる家族に感謝しながら生活していく。
- 人権侵害や差別、いじめを一つでもなくすことで、悲しい思いをする人が減るよう行動したい。自分自身が加害者にも被害者にもならないためにも、言葉遣いや行動を見つめ直したい。
- この発表会のように、みんなに知ってもらう機会があるからこそ、そこから世界を変えていけると思う。未来の子どもたち、地球が幸せであるように、今できることを見直したい。
- 軽い判断で傷つく人がいるということをしっかり理解した上で SNS を使いたい。
- 一人一人が意識すれば世の中を変えられると信じて、率先して動く。その中心的存在でありたい。

それぞれの人権宣言

人権について一人一人が考えや思いを深めた今、スマイルタイムを利用して、各学級で『人権宣言』を発表してもらいました。

1A：『みんな平等で いじめが無く 助け合える
優しいクラス』

1B：『先生へのタメ口をへらそう』

1C：『STOP!!』～いじめをなくすクラスへ～

1D：『個性をバカにしない』

2A：『人の気持ちを考えて みんなで楽しいク
ラスになるように協力しよう』

2B：『感謝されるように 人の気持ちを考えて
行動しよう』

2C：『自分の発言や行動に気をつけて 笑顔
の多いクラスにする』

2D：『1日1回でもいいことをして 会った人に
は あいさつをする』

3A：『ONE FOR ALL, ALL FOR ONE』

3B：『自分から行動する』

3C：『人の良い所を見つける』

3D：『思いやりをもち 温かい言葉をかけよう』

大切なのは、これからのみなさんの行動です。学んだこと、宣言したことを意識して生活を送りましょう。行動が変わると、やがて空気が変わります。夏休み明け、心地よい空気感でスタートできますように☺